

学都屋台食談

第3回

株式会社苗加不動産
代表取締役

苗加 充彦氏
のうか みつひこ

金沢で過ごす学生生活の意義や仕事観：人生観を、講師と学生が語り合う「学都屋台食談」を11月6日から11月19日にかけて、金沢市の片町中央味食街で開催しました。2006年から今年で13年目を迎えた食談で、講師が語ったメッセージを紹介します。



のうか不動産
NOKA ESTATE Co., Ltd.

人とのつながりが アイデアの種に

私は、人とのつながりを大切にしています。なぜなら、多くの方と話す中で、それぞれの人が積み重ねてきた経験や考えに触れられるからです。だれでも一人でできることには限界があります。ですが、いろいろな人の意見を自分自身の経験と結び付けて考えれば、これまでにない新しいアイデアが生まれるかもしれません。

のうか不動産では、大学と学生街を結ぶ無料バスを運行したり、勉強場所にも使えるカフェを開いたり、入居者向けに多彩なサービスを進めています。一般的にイメージする不動産業の枠を越えたサポートが入居者の満足度向上につながっていて、今年6月には、業界で初めて船井財団が主催する「グレートカンパニアワード2018」の顧客感謝賞を受賞しました。これらの取り組みは、決してどれか一人で作り上げたものではありません。お客様を第一に考え、多くの社員が知恵を絞った成果だと言えます。

積極的に海を渡り 経験値を高めよう

もちろん、国内だけでなく、海外の人たちとも積極的につながりを持つことが大切です。私自身、数年前に中国に出かけたことで学んだことがあります。当社には中国人の社員がおり、旅先では彼の知り合いがもてなしてくれたのですが、その歓迎ぶりは想像以上でした。古くからの友人と接するかのよう、滞在中は至れり尽くせりの手厚いサポートをしてくれたのです。人間的にも非常に魅力的な方で、帰国する際には尊敬できる友人となりました。

現在、日本と中国の間には、歴史認識の違いなど、さまざまな問題があるのも事実です。ただ、その一面だけを見て、国民同士も反りが合わないと思断するのは、もったいないことだと思います。国は違っても人と人が実際に会って話す中で、見えてくるものはたくさんあるはずです。

現地を訪れたからこそ分かることは、決

して少なくありません。私自身、よく旅行に出かけていて、のうか不動産でも年に1度は海外研修を行い、見聞を広げるようにしています。学生の皆さんも積極的に海を渡り、たくさんの人と触れ合う中で経験値を高めてください。

迷い悩む中で 進みたい道が見つかる

学生の皆さんはまだ若く、これから仕事や人付き合いなど、さまざまな経験を重ねていきます。当然、その過程では失敗することもあるでしょう。私も、今日楽しく杯を傾けるお酒にまつわるだけでも、数え切れないほどの失敗談があります(笑)。

もしかしたら、失敗を恐れている人もいるかもしれませんが、その気持ちが強すぎるあまり、何もしないのはいただけません。若い時の失敗は付きものであり、その経験が成長への原動力になるからです。

就職を控え、学生の皆さんは今、どんな将来を歩んでいくか悩む時期だと思います。ただ、あせらなくても大丈夫です。時にはつまづいたり、立ち止まったりしてもいいじゃないですか。無理矢理に天職を決める必要はなく、まずはいろんなことにどんどん挑戦してください。迷い悩む中で、自ずと進む道が見えてくるはずです。

若い時の失敗は成長の原動力



講師

株式会社 苗加不動産
代表取締役

苗加 充彦氏

のうか・みつひこ

1969年石川県金沢市生まれ。90年苗加不動産入社。2002年専務取締役に就任。07年より現職。



参加生

前列左から知花望笑さん(金沢大学2年)、石戸咲菜さん(金沢星稜大学3年)、後列左から川場清佐さん(金城大学3年)、宅美佳幸さん(金沢工業大学3年)、中村圭佑さん(北陸大学3年)

企画/株アドマック 編集/株都市環境マネジメント研究所